



(問合せ先)

九州運輸局交通環境部物流課 川原・鹿毛 電話 092 - 472 - 3154

九州運輸局自動車交通部貨物課 橋口・尾堂 電話 092 - 472 - 2528

軽油価格高騰下における下請・荷主適正取引の推進のための 九州経済連合会への緊急協力要請について

平成19年12月21日
九州運輸局

原油価格が高騰し史上最高水準で推移するなか、中小零細企業が大多数を占めるトラック、内航海運等の運輸業界においては、燃料油の高騰によるコスト増加が自助努力の範囲を超え、極めて厳しい状況におかれており11月14日、運輸業界トップから国土交通大臣に対し適切なコスト分担に関する荷主の理解と協力について要請が行われました。

これを受け、12月12日に春田 国土交通審議官が日本経済連合会 渡 副会長を、12月18日に冬柴 国土交通大臣が日本商工会議所 岡村 会頭を訪れ「物流をめぐる当面の課題」について説明するとともに、近時の原油価格の高騰に際し、荷主の理解が不可欠である状況について、ご理解・ご配慮を求め懇談をしたところです。

このような状況を踏まえ、本日、大黒 九州運輸局長が鎌田 九州経済連合会会長を訪れ、九州運輸局と九州経済産業局の両局長連名による文書を手渡し、下請・荷主適正取引の緊急協力要請を行いました。

併せて、近時の原油価格の高騰に際し、荷主の理解が不可欠である交通運輸業界の窮状についてのご理解と、傘下会員への周知について要請を行いました。

それらの概要につきまして、以下のとおりお知らせ致します。

記

1. 日 時 平成19年12月21日(金) 10:00～
2. 場 所 福岡市中央区渡辺通二丁目1-82
九州電力(株)(電気ビル本館10階)
3. 出席者 九州運輸局側：大黒 九州運輸局長
山田 自動車交通部長
九州経済連合会側：鎌田 会長



4. 概要

(1) 九州運輸局発言

現下の急激な軽油価格高騰問題に対し、トラック事業における燃料費の上昇に伴う運賃設定協議において取引の適正を確保することについて、緊急に協力を要請したい。(公文書を手渡し)

交通関係事業において、近時の原油価格の高騰は例を見ないものであり、自助努力だけでは対応が困難。特に中小企業が多いトラック、内航海運業界においては、適切なコストの分担について荷主側の理解が不可欠であることから、九州経済連合会におかれても、このような状況にご配慮を頂き、会員荷主企業等に対しても運輸業界の窮状についての理解を促して頂くことを要請する。

(2) 九州経済連合会発言

緊急協力要請の文書は確かに受領した。

運賃は荷主と運輸事業者との間で決まるものであり、九経連で決めるものではないが、荷主と運輸事業者の十分な話し合いで決めることは大切だと考えている。機会を捉えて会員に周知を図りたい。